

# 神坂雪佳

つながる琳派スピリット

Kamisaka Sekka:Inheriting the Timeless Rimpa Spirit

Timeless Rimpa Spirit

2025 1/25土—3/23日

●開館時間：9時30分～17時 ●休館日：月曜日 ※2月24日(月・休)は開館、25日(火)は休館

●会場：ふくやま美術館1階企画展示室（広島県福山市西町二丁目4番3号）

●観覧料：一般1,300円(1,040円)高校生以下無料 ※( )内は前売り、または有料20名以上の団体料金

※前売券は、ふくやま美術館ミュージアムショップ、JR福山駅観光案内所、ローソンチケット[Lコード:61403]などで1月24日(金)まで販売。

前売り券販売所の詳細、観覧料の減免・割引はふくやま美術館ホームページで確認、またはふくやま美術館(084-932-2345)にお問い合わせください。

●主催：(公財)ふくやま芸術文化財団 ふくやま美術館、福山市、中国新聞備後本社

●監修：細見美術館 ●企画協力：株式会社アートワン

上から 神坂雪佳《金魚玉図》20世紀(明治末期)細見美術館蔵 / 神坂雪佳「ちく佐」より1900～1905年(明治33～38年)刊 芸艸堂藏

神坂雪佳『百々世草』より「狗兒」1909～1910年(明治42～43年)刊 細見美術館蔵 / 神坂雪佳 図案《鳶の葉図詩絵観箱》1921年(大正10年)個人蔵(すべて部分)



FUKUYAMA MUSEUM OF ART

ふくやま美術館

「琳派」は、江戸時代初期の本阿弥光悦、俵屋宗達に始まり、

江戸中期の尾形光琳とその弟乾山、さらに江戸後期の酒井抱一、鈴木其一らによって私淑という形で受け継がれてきました。明治から昭和にかけて京都で活躍し、「光琳の再来」とも称された神坂雪佳（1866～1942）は、はじめ四条派の画法を学びますが、琳派に傾倒し、身の回りを美しく飾る

意匠（デザイン）を次々と生み出していきます。京都の図案、工芸界の重要な役割を担うようになり、雪佳画による実用性の高い意匠集や、鑑賞のための絵画作品集などが多数出版されました。本展は、装飾性豊かな琳派の作品をたどりながら、約80件の作品により、マルチアーティスト・雪佳の多彩な活動を紹介します。



神坂雪佳《杜若図屏風》20世紀(大正末～昭和初期) 個人蔵



酒井抱一《横に秋草図屏風》19世紀(江戸後期) 細見美術館蔵



尾形光琳《柳図香包》18世紀(江戸中期) 細見美術館蔵



本阿弥光悦 書/俵屋宗達 下絵  
《忍草下絵和歌巻断簡》17世紀(江戸前期) 細見美術館蔵



神坂雪佳《紅葉白菊図》  
20世紀(大正末～昭和初期) 細見美術館蔵

記念講演会「神坂雪佳の魅力と琳派」	
日時	1月25日(土) 14時～15時30分
講師	福井麻純(細見美術館主任学芸員)
会場	ふくやま美術館1階ホール
定員	100名
※当日先着順、聴講無料	
「アーティスト教室」「家族で楽しむお抹茶体験！」	
家族でお点前を体験していただき、日本の伝統文化である茶道に親しんでください。	
また、老舗和菓子店・松濤園とのコラボ和菓子も一緒にいただけます。	
日時	① 3月9日(日) ② 10時～11時30分 ③ 13時30分～15時
講師	(一社)表千家同門会備後支部
会場	ふくやま美術館2階茶室
受講料	1組2名 2,000円
対象	小学生とその保護者
定員	各回10組 ※応募多数の場合は抽選
応募方法	往復はがきまたは福山市HP電子申請システム(1月15日(水)受付開始)に「講座名」「郵便番号」「住所」「電話番号」「参加される方の名前(保護者・子ども)」「子どもの年齢・学年」「希望時間帯」を記入し、「応募ください」。
※1通につき1組	
応募先	〒720-00067 福山市西町二丁目4番3号
会場	ふくやま美術館1階企画展示室
※特別展観覧券が必要	

### 学芸員によるギャラリートーク

日時：1月26日(日)、2月2日(日)  
各回14時～15時

ふくやま美術館「アーティスト教室」係  
募集締切：2月19日(水) 必着

応募方法：往復はがきまたは福山市HP電子申請システム(1月15日(水)受付開始)に「講座名」「郵便番号」「住所」「電話番号」「参加される方の名前(保護者・子ども)」「子どもの年齢・学年」「希望時間帯」を記入し、「応募ください」。

会場：ふくやま美術館2階茶室  
受講料：1組2名 2,000円

講師：(一社)表千家同門会備後支部  
日時：① 3月9日(日)  
② 10時～11時30分  
③ 13時30分～15時

会場：ふくやま美術館1階ロビー  
受講料：一般 1,500円

会場：ふくやま美術館1階ロビー  
受講料：一般 1,500円

会場：ふくやま美術館1階ロビー  
受講料：一般 1,500円

## ●関連イベント

### 猪原純×橋佳祐×樋口利歌 『早春のトリオ・コンサート』

福山市出身でシンガーソングライターやバンド「肩星」などさまざまな音楽活動をしている猪原純、倉敷で学業を修め国内外で活躍する橋佳祐、井原市出身で各地でコンサートの開催をするほかCMソングのレコードディーラーに携わるなど多岐に渡る活動をする樋口利歌。瀬戸内にゆかりがありつつ、広く活躍する3人の豊かな調べをお楽しみください。

日程：2月22日(土) 開場18時、開演19時

※開演前に特別展「神坂雪佳」をご鑑賞いただけます。

出演者：猪原純(ギター)、橋佳祐(ピアノ)  
樋口利歌(ヴァイオリン)

会場：ふくやま美術館1階ロビー

購入方法など詳細は美術館HPをご覧ください。



八橋をテーマにした松濤園のお菓子。  
当日のお菓子は現在計画中のことです。  
お楽しみに！

神坂雪佳 図案/河村靖山作  
《菊花透し彫鉢》1910年(明治43年)  
個人蔵

神坂雪佳 図案  
四代、五代 清水六兵衛 作  
《水の図向付皿》1920年(大正9年)  
個人蔵



神坂雪佳 図案  
《鳥の葉図芭絵硯箱》1921年(大正10年)  
個人蔵



(背景)神坂雪佳「染織図案 海路」より 1902年(明治35年)刊 細見美術館蔵  
神坂雪佳「ちく佐」より 1900～1905年(明治33～38年)刊 芸艸堂蔵(すべて部分)

### ●交通案内

- JR福山駅福山城口(北口)から西へ400m
- 山陽自動車道 福山東インターから車で20分  
駐車場 68台
- ※特別展・所蔵品展を観覧で1時間無料

### ●お問い合わせ

Tel. 084-932-2345 Fax. 084-932-2347  
X/Instagram : @fukuyama\_bi



### ●同時開催

- 冬季所蔵品展
- 穴をのぞく／むすんでひらいて、またむすぶ
- 会期：1月2日(木)～3月30日(日)
- 会場：ふくやま美術館2階常設展示室

